

2008年トゲソ生息個体数調査実施

とげそ米を食べてトゲソの生息調査ご案内

1. はじめに

NPO法人五泉トゲソの会では、トゲソの保全活動の一環として、毎年トゲソの主要生息場所2ヶ所において個体数調査を実施しています。この調査は、2001年から始めて、今年で8年目になります。調査開始当時は各地点とも100~200匹程度の生息数だったのが、保護池の創出や生息環境の改善などにより、個体数は500匹程度に回復しました。



▲休耕田に造成したトゲソの新水路

しかしながら、2004年をピークにトゲソの数

も減少（新水路入れて340匹）しています。また、2回目の水路コンクリート化によって生息地の減少が進み、会として新たに「休耕田を利用した生息地づくり」をしてきました。その結果、休耕田に作った新水路に昨年120匹余り生息していることが分かりました。

今年は、その新しい生息地づくりが成果として実証されるかどうか、確認の調査となります。毎年、寒い時期ですが、今年も調査を予定しました。お手数でも都合のつく方のご協力をお願いいたします。参加申し込みは、下記にメール（電話）にてお願いいたします。なお、「とげそ米」を作りましたので、試食を兼ねて行いますのでよろしくお願いいたします。

2. 集合場所

五泉市土堀地内の水路脇（下記地図参照） ※小雨でも実施予定

3. 日時

平成20年10月26日（日曜日）午前9時集合 トゲソの生息水路・小屋前

9:00 集合 打ち合わせ

9:30~12:00 土堀水路の個体数調査

12:00~13:30 昼食（とげそ米のおにぎり／五泉の里芋汁を出します）九区公民館

13:30~16:00 猿和田水路の個体数調査

16:15 解散

4. 調査方法

水路を仕切り網によって上下流を区切り、その中にあるトゲソを捕獲して個体数の記録（目測の計測）を行う。また、他の魚類や底生動物については個体数のみ記録する。

5. 持ち物

※胴長が無い方のために、フリーの胴長4着を用意します。

- ・ 胴長（水路に入る人）または長靴（計測などをする人）
- ・ 軍手またはゴム手
- ・ 防寒具（雨具） ※かなり寒いことが予想されますので、厚着をしてきてください。
- ・ 手網またはサデ網（持っている人のみ。会のサデ網5個あり。）

6. 申し込み先・携帯

◇トゲソの会：事務局中村 E-mail: togeso@beige.plala.or.jp TEL: 090-2235-3936

◇調査担当: 齊藤 E-mail: art-saito@clock.ocn.ne.jp TEL: 080-5198-7906

☆平成 19 年 11 月の第 7 回生息個体数調査。
新潟大学よりサポーターが駆けつけてくれました。

